

# 平成 22 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 千原 美重子

最終学歴	京都大学大学院教育学研究科教育方法学専攻博士課程単位取得満期退学	
取得学位	教育学修士	
所属学会	日本心理臨床学会、日本心理学会、日本教育心理学会、日本発達心理学会、日本人間性心理学会、日本学生相談学会、関西心理学会、	
専門分野	臨床心理学、発達臨床心理学、学校臨床心理学	
研究課題	発達支援のためのスクールカウンセリングの構造の研究・各発達期の心理的危機への対応としての心理療法の研究	
授業科目		<ul style="list-style-type: none"> <li>・心理アセスメント実習（前期）</li> <li>・コミュニティ心理学（前期）</li> <li>・アドヴァンスド臨床心理学（後期）</li> <li>・発達臨床心理学（後期）</li> <li>・臨床心理学応用実習Ⅰ（前期）</li> <li>・臨床心理学応用実習Ⅱ（後期）</li> <li>・臨床心理学演習Ⅰ（一）（前期）</li> <li>・臨床心理学演習Ⅱ（一）（後期）</li> <li>・臨床心理学演習Ⅲ（一）（前期）</li> <li>・臨床心理学演習Ⅳ（一）（後期）</li> </ul>
	大学院修士課程担当科目（博士前期課程含）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床心理学特論（通年）</li> <li>・臨床心理面接特論（通年）</li> <li>・臨床心理基礎実習（通年）</li> <li>・学校臨床心理学特論（後期）</li> </ul>
	大学院博士後期課程担当科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
	通信教育部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間論Ⅲ</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
【研究上の特記事項】	奈良大学研究助成金により、「スクールカウンセラーの生徒への発達支援の在り方」について研究することができた。その結果、2回のシンポジウムを開催することができた。また、地域臨床研究会を開催することで、学部生や若い研究者たちと、教育現場や福祉現場での心理臨床的地域支援の実践を通して研究することができた。また、東近江市教育委員会のいじめ対策緊急支援総合調査研究事業に参画し、いじめ等により心的外傷を受けた児童生徒への支援の在り方について研究した。	
【教育上の特記事項】	奈良大学地域連携教育研究センター事業Ⅰにおいて地域臨床実践研究会を開催し、院生や学生および外部研究員院とともに、大学が地域に貢献できるあり方について研究し、実践し、その成果を地域臨床研究会報告書第5号を刊行した。また、外部から講師を招聘し講演会を実施し、研究員等による実践報告会を実施した。	
【社会的活動】	奈良県情報公開審査会委員、奈良県青少年問題協議会委員、滋賀県臨床心理士会会長、滋賀県いのちの電話理事、おうみ犯罪被害者支援センター理事、滋賀県犯罪被害者カウンセラー、滋賀県スクールカウンセラー・スーパーヴァイザー、東近江市いじめ対策緊急支援総合調査研究事業連絡協議会会長、奈良大学心理学講演会「中年期以降の心理的発達—発達臨床心理学の立場から」（22年5月）、草津市教育講演会「智恵を育む人—家族・地域の力（ハーモニー）」（22年7月）	
【学内活動】 (学内職歴を含む)	奈良大学臨床心理クリニック相談員、学生相談員、人権問題委員会委員、総合研究所運営委員委員、紀要編集委員会委員、博物館委員会委員	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
①				
②				
③				
④				
⑤				
(学術論文)				
①スクールカウンセリングの構造に関するスタンダード作成の試み(1)	単著	平成23年3月	奈良大学紀要 39	スクールカウンセリングの個々の活動については研究されているが、その活動を俯瞰する構造に関する研究がまだ少ない。今回は、スタンダードな構造について研究をしたものである。
②子どもを盗られる不安を抱く母親の事例～拒食・チック症状・人間関係の不信感にかかわる問題を持つ子どもたち～	単著	平成23年3月	奈良大学臨床心理クリニック紀要3	わが子を主体的に育むことができなかつた場合、子どもに心理的・身体的な問題が生じることで、母親自身が直面する自己を物語ることを通して個性化をしていく必要性について論じた。
③				
④				
⑤				
(学会発表)				
地域の文化に根ざしたスクールカウンセリングの在り方の検討ー学校コミュニティの文化が背景に感じられる事例からー	単著	平成22年8月	第15回SC全国研修会シンポジウム(昭和女子大学)	学校を1つのクライアントとみた場合、学校が抱えてきた社会的な背景、過去・現在・未来という歴史的な流れや学校の文化を理解することがカギとなることを確認し、その上でコンサルテーション、連携の在り方を事例をあげて検討した。(企画と司会を担当)
②保護者支援員の学校コミュニティへの支援と展開のプロセスについて	単著	平成22年9月	日本心理臨床学会29回大会(東北大学)	保護者支援員として学校に派遣された臨床心理士が、どのようにして保護者と教員とかかわり、生徒の発達支援を展開していったかについて事例を発表し、保護者を支援することの意義について様々な方向から検討した。(企画と司会を担当)
③				
④				
⑤				

(その他)				
①臨床心理士養成指定大学院 プロフィール・奈良大学大学 院～地域臨床の視点を持った 心理臨床家の育成	単著	平成22年7月	日本臨床心理士資格 認定協会「臨床心理 士報」39、第21巻第2 号	1種校の認定を受け、カリキュラ ム、スタッフ、実習指導、臨床心理 クリニック、今後の展望について検 討したものである。P29-33
②心理臨床活動と倫理	単著	平成23年3月	奈良大学地域臨床研 究会『人として輝 く』5号	心理臨床活動に携わることは、多く の個人情報に触れることになる。ボ ランティア活動といえども守秘義務 は非常に大切なものである。ただ し、人の生命にかかわるような場合 は、例外となる。絶えず葛藤する中 でいかにボランティア活動や心理臨 床活動を意義のあるものにするか について論じたものである。P42-45
③いじめ対策緊急支援総合調 査研究事業・学校問題解決支 援～いじめ等により心的外傷 を受けた児童生徒の支援の在 り方	共著	平成23年3月	東近江市いじめ対策 緊急支援総合調査研 究事業運営協議会	いじめ等により心に傷を負った場 合、PTSDにならないように対応す るにはどのようなプログラムが必要か 協議会を通して1年間にわたり検討 し、調査・実践を通して得られた研 究結果をまとめたものである（協議 会会長を務めた）。
④				
⑤				